

牛久：学校周辺に見る自然

第21号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月9日発行

＜ 初夏のみずべ公園 ～⑫シロツメクサ、アカツメクサとヤセウツボ ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きもの観察、今回はシロツメクサとよく似たアカツメクサ（ムラサキツメクサ）、それらの栄養を吸い取るヤセウツボ、みつを吸うチョウの紹介です。



シロツメクサ（左）と、アカツメクサ（右：ムラサキツメクサ）。

ぱっと見るとよく似ている、シロツメクサとアカツメクサ（ムラサキツメクサ）。でもよく見ると、違うのは花の色だけではありませんよ。まず、シロツメクサは茎が地面をはい、花も葉も柄が長く伸びますが、アカツメクサでは立ち上がった茎に、短い柄でつく葉のすぐ上に花がつけます。アカツメク



サで首かざりを編めないのは、そのためです。また、シロツメクサはふつう葉や茎に毛がありませんが、アカツメクサは毛が多いです。シロツメクサの葉のふちには、めだたないギザギザもあります。だから、花が咲いていなくても、見分けることはできます。じつは、みずべ公園には白い花のアカツメクサもあるのですが、これらの違いが分かっていたら、見分けられるのです。

白花のアカツメクサ。花の色以外の持ちょうは、アカツメクサですね。

そのシロツメクサやアカツメクサに自分の根をさしこんで、栄養をうばい取って生きている草もありました。ヤセウツボです。最近、ずいぶん増えた気がします。みつを吸っているモンキチョウやベニシジミ、マルハナバチなどもいました。

【理科支援員：宮内】



ムラサキツメクサの栄養をうばって生きるヤセウツボ（左）と、みつを吸うモンキチョウ（右）。